

しちがはま

議会だより

No. 112

平成24年7月13日
宮城県七ヶ浜町議会



未来へ駆ける

(汐見小学校)

特集 貴重な意見が	議会報告会	2
安心元気な補助金を増額	補正予算	6
おらほの学校紹介シリーズ	一第2回一	11
病児・病後児保育や子ども医療費助成など	7人が質問	12

おばんです

2回目の報告会を開催

特集

議会はどのように決めました

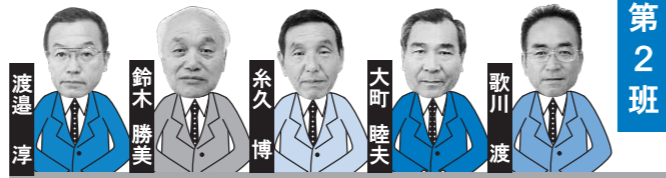
3月定例会の内容を地区へ出前!

6月定例会は6月13日から14日までの2日間の会期で開催しました。土地利用の条例制定や24年度補正予算など7件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

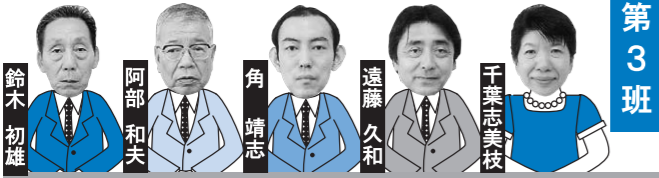
今回の特集は、5月21日から25日まで9会場で開催した第2回議会報告会の内容をお知らせします。



開催日	開催場所	参加者
5月22日(火)	湊浜公民分館	16人
5月23日(水)	吉田浜コミュニティセンター	
5月24日(木)	汐見台第2分館	



開催日	開催場所	参加者
5月21日(月)	東宮浜公民分館	29人
5月23日(水)	遠山公民分館	
5月25日(金)	要害公民分館	



開催日	開催場所	参加者
5月22日(火)	生涯学習センター	16人
5月23日(水)	国際村セミナー室	
5月24日(木)	亦楽公民分館	

皆さんのからいただいた質問の主なもの

●介護保険料の改正

- Q. 2市3町で最も高いがなぜか。
 A. 介護サービスの利用者増や高齢化率の上昇などが見込まれるため。
 Q. 小規模介護老人福祉施設(特養)も保険料アップの一因とあるが、場所・定員・料金は。
 A. 遠山五丁目に7月開所。町民29人が利用するが、料金は不明。
 Q. 介護者減少施策の一つとして、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の助成を。
 A. 町は安全面での心配があったが、24年度からの助成となった。

●震災特別委員会の役割と活動

議会として、災害時応急体制を確立し、現地調査や陳情を検討していく。がれきの二次処理状況調査を予定。

●予算

財源

- Q. 土地の買収費や造成費、災害公営住宅の建設費は含まれるのか。
 A. 国の復興交付金を利用した町の基金に入っている。
 Q. 町税が減っているが増収対策は。
 A. 被災事業者の復興、6次化を含めた1次産業の復興、勤労者の居住促進策などが考えられる。

使い道

- Q. 農林水産費に除塩費用は含まれているのか。
 A. 田んぼの除塩は、県の事業のため含まれていない。

●一般質問の回答後

追跡シリーズ「あの質問はどうなった」などで報告している。

●夜間議会の再開

現時点では考えていない。



皆さんの声を 反映します

町への意見・要望

報告のあとに 意見を伺いました

震災復興を急げ

- 住宅・がれき・防潮堤など震災復興の動きが見えない。
- 高台移転や災害公営住宅用地の買収、造成を早急に。
- 移転用地を確保するため、買い取りに工夫を。
- 仮設住宅の生活は苦痛。早期の住宅整備を。

防災・減災対策を

- 地盤沈下による床下浸水地区の排水整備を。
- 高台へ避難できる防災道路を。
- 地区の自主防災会に指針等を示し関与して欲しい。

住環境整備など

- 町内の狭あい道路解消を。
- 放射線測定器を各地区に貸出しを。
- 町民バス「ぐるりんこ」を使いやすく。

対応

各班の代表者が議会運営委員長に報告書を提出

議会運営委員会で取りまとめ、協議・検討して議長に提出

町政に関する重要なものは、町長に申し入れ対応を求める

議会だよりに
掲載

議会へ注文！

周知が足りない

今回、参加者が少ないのは、地区民への周知方法が悪かったためではないか。再考を。

生の声を聞く機会を

議会でテーマを決めて住民の声を聞くとともに、町民が何を望んでいるのか聴取し、まちづくりに反映して欲しい。

町の復興に向け

議会は一致団結して町へ強く働きかけを。

報告会で

議会だよりの内容をもう少し詳しく説明してもらいたい。



3年後の完成をめざし萩蒲田海岸復旧工事がスタート（県事業）

議案審議

国保税・介護保険料を減免

正算
補予

平成24年度一般会計補正予算（第2号・第3号）は歳入歳出それぞれ6億7234万円を追加し、151億8318万円としました。補正の主なものは、安心元気な地域社会づくり補助金の増額や漁港の災害復旧工事などで、第2号は質疑・討論の結果、賛成9・反対6の賛成多数で、第3号は反対なく、原案のとおり可決しました。

安心元気な補助金を増額

各地区30万円から50万円に

質疑

安心元気な地域社会づくり補助金

問 増額の理由は。

答 政策課長 24年度のみの増額だが、地域コミュニティの活性化に利用してもらいたい。町長 不足との声もあり、地区の持ち出しを少しでも少なくしたい。

町民バス回数券配布

問 発行の経緯と対象者及び金額は。

答 政策課長 点在した仮設住宅の利便性を考慮した支援として、「半壊」以上の世帯に回数券5千円分を配布する。7月からの利用を予定している。

こどもサポート支援

問 「災害後のこどもサポート」と発達支援事業の内容は。

答 地域福祉課長 震災後の心の痛みを抱えた子どもと家族への支援として、相談、研修、講習等を考えている。

復活「夏まつり」の開催

問 「夏まつり」の内容と開催場所は。

答 生涯学習課長 スポーツ広場で行っていた夏まつりを復活するもの。野球場で8月10・11日に開催したい。

さくら児童館の移設

問 さくら児童館の移設場所は。

答 地域福祉課長 亦楽小学校の特別教室を利用して移設する。



昨年の復興夏まつり（菖蒲田浜）

条例制定

●国民健康保険税・介護保険料を減免

内容 特定被災区域で半壊以上の被災者は本年9月までの国保税・介護保険料が減免されます。

●工場緑地の面積要件を緩和

内容 復興特別区域内に工場を増やす時、緑地比率を緩和し建物が増設しやすくなります。

●固定資産税・都市計画税が非課税に

内容 復興産業集積区域内への企業誘致・雇用創出を促進するため5年間非課税となります。



国保税が減免されます

契約

遠山保育所改築工事
契約先 松井建設(株)
金額 2億3048万円
工期 平成25年3月15日

人事

人権擁護委員
ひさち よしこ
引地 淑子 さん
(再任)
任期は平成24年10月1日から3年間

臨時議会

4月24日に第1回臨時会を開催しました。災害公営住宅の用地買収に伴う一般会計補正予算などを審議し、原案のとおり可決しました。

質疑

☆災害公営住宅用地買収費 3億1800万円
問 買収単価の根拠は。
答 町長 1筆単位の鑑定評価額で実施する。

☆津波復興拠点整備計画支援事業費 1500万円
問 畑を作っている人の代替地は、交付金事業で賄えるのか。
答 交付金事業では難しい。希望があれば町で交渉し購入は当事者で行う。

☆都市公園事業整備計画 1200万円
☆都市公園事業整備計画 1200万円

☆文化財発掘調査費 6308万円
問 災害公営住宅や防災集団移転促進事業に工期的支障はないか。
答 町長 平成24年までに調査は終了する。



文化財の発掘調査中

おもな内容

一般会計	補正額
■歳入	
国の補助金・負担金	3億7442万円
地方交付税	1億2547万円
■歳出	
安心元気な地域社会づくり補助金へ	650万円
町民バス回数券配布事業へ	850万円
漁港災害復旧工事等へ	2億2000万円
道路災害復旧工事等へ	3000万円
復活「夏まつり」開催補助金へ	956万円
災害後のこどもサポートと発達支援へ	100万円
七中校舍解体・屋内運動場床補修等へ	1億1602万円

討論・採決の結果
可決しました

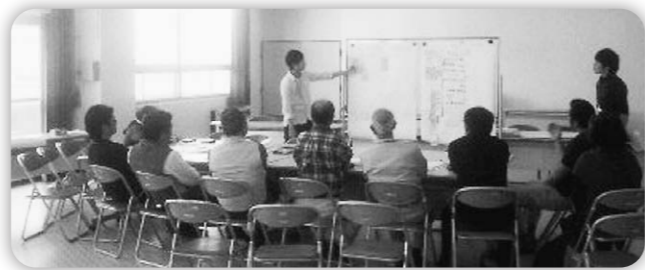
反対 歌川 渡
震災復興基金を補助金など一過性のものにして使用する。
賛成 我妻周悦
議案審査の結果、理解できる使用である。

教育 民生

教育施設の復興状況は

調査事項である「公共施設（教育・福祉）の復興策について」は、現在までの教育関係施設の復興計画を調査しました。各担当課から進捗状況の説明を受けて状況を把握し協議しました。進捗状況の主なものは、

- 図書センターは生涯学習センター内の軽運動場に計画。旧図書センターの跡地を駐車場に予定。
- 七ヶ浜中学校は平成25年7月位に着工、26年度中に完成予定。
- アクアリーナは本年4月に開館予定であったが機械



分館建設へワークショップ

- 電気等に不具合が見つかり6月末にオープン予定。
- 地区公民分館の建設は地区ごとのワークショップで検討していく。
- 他の施設は著しい進展はないが順調に進んでいる。

今後は、福祉施設を含む各担当課より情報を入力して、復興計画との整合性を検討し引き続き調査していきます。

総務

委員会レポート これも議会の仕事です

災害時の飲み水・食料の確保を重点に

3月以降、新しい所管事務調査事項の災害に強いまちづくり

- 避難収容対策について
- 食料・飲料水及び生活物資の確保について

の調査活動を開始しました。4月に委員会を開催し今後の方向性を協議した結果、本町での災害に強いまちづくりの考えを防災対策室から説明を受けることにしました。5月には避難所の備蓄状況、福祉避難所との協定、給水・食料対策など13項目にわたり、今後の取り組みや対策の説明を受けました。



災害から命を守る備蓄品

産業 建設

いち早い具体的対策を

商工会、農家、漁師の方々の声を直接懇談会形式で伺いました。各団体が抱える問題点への対応を産業課と協議しました。主な内容は松ヶ浜、菖蒲田漁港の岸壁の復旧及び地盤沈下対策は年度内完工を目指す実施中。海苔の作業場は代ヶ崎浜が3月に完成。他9カ所は10月までの完成を予定。資材保管庫の設置などは漁



一步前進(代ヶ崎浜海苔協業施設)

協との協議を検討。販売加工施設は花刈浜を予定。6次産業化を目指す国の促進事業へ申請。葦ヶ森排水路、水門の復旧は県道の嵩上げ等も含め県営事業の農業用施設復旧工事に対応を計画。

今後は、各地域で先進的に始めている事例や具体的な有効対策を調査し速やかな復旧を目指していきます。

編集姿勢を学ぶ

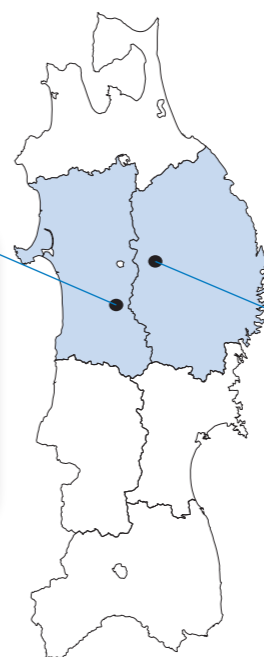
議会だよりの発行は読みやすく、分かりやすい紙面づくりを目指していますが、町民参加の記事も非常に大切な要素であると言われております。前号からは町内の小中学校に参加してもらい児童・生徒の目線から議会や町などの関心ごとを自分たちで記事にしたものを掲載しています。いかがでしたか。

委員会は5月に議会だよりのレベルアップを図るため、秋田県美郷町岩手県雫石町を視察しました。両町は全国広報コンクールで上位入賞の

議会 広報

経歴を持つ先進地です。美郷町は写真が素晴らしいこと、質疑者の議員名を記載していることなど大変参考になりました。

雫石町は全国でも珍しい左と右横組みの議会だよりであり、町民参加の記事を多く用いた独特な編集姿勢を学ぶことができました。これからも「町民とともに」の原点を忘れず、親しまれる議会だよりを目指して努力していきます。



美郷町ではこのように



特徴ある雫石町



第2回議会報告会を開催

議会 運営

第2回議会報告会を開催しました。報告会の主な内容は、特集として2ページから5ページに掲載しています。数多くの活発な質疑応答があり、関心の高さを感じ、成果のひとつとして評価できるものと受け止めるとも意義のある

報告会となりました。今回は、報告会の案内が議会だよりと当日の防災行政無線の放送だけでなく、参加者が極端に少なくなりました。今後はより多くの参加をいただくために周知方法などを見直していきます。

また、より良い報告会になるよう検討を重ね改善し、町民の皆様の期待に応えていきます。





七ヶ浜町立
夕見小学校

笑顔は、勉強は、元気は、

オリンピック選手が来たよ!



夕見小学校に「体操ニッポン東日本大震災復興支援活動」として体操新体操、トランポリン、フエンシング競技のオリンピック代表選手がたくさん来てくれました。夕見小の全校児童と赤松小と松ヶ浜小の六年生が参加し、選手の演技を見たり、体験レッスンに参加したりしました。

会場には、たくさんテレビカメラやスタッフの方が来ていて改めてすごい人たちが来ているんだと思いました。

新体操選手の体の柔らかさや、トランポリン選手の跳ぶ高さ、体操選手の筋力にはとてもびっくりしました。また、フエンシングの選手と夕見小の子供たちとの対決はとてもおもしろかったです。体操の内村航平選手が最後のあいさつで、「元気をあげに来たのに逆にたくさん元気をもらいました。オリンピックでがんばります。」と話してくれたのがとてもうれしかったです。

私たちは寄せ書き入りの日の丸を十枚プレゼン



トしました。選手のみなさんは、そこに書いてあるメッセージを熱心に読んでくれていました。ロンドンオリンピックの試合場に持って行ってくださるとのことだったので少しでも選手のみなさんの力になってくれればと思います。

約二時間の交流でしたが、あつという間にとても楽しい時間でした。私たちも選手のみなさんに負けないようにがんばりたいと思います。



「七中の伝統」と聞くと、誰もが「応援」と答えるほど、七中魂の一つと言えるものです。

中総体壮行式では、一・二年生で新しく組織した応援リーダーが引き継いだ応援を行いました。



七ヶ浜町立七ヶ浜中学校
七中だより

一年生にとっては、経験したことのない応援スタイルですが、先輩たちのけぞって大声を出す姿に負けずについてきていました。七中の伝統が一年生にもしっかりと引き継がれています。

二年生委員長 千葉海勝
七中では、あいさつにも力を入れています。二年生では学年あいさつ運動を行い、チーム七中を盛り上げています。

応援リーダーで先頭に立っていると、自分の後ろから七中生全員が団結して声を出しているのが感じます。この伝統を守り続けていきたいと思いをします。

応援副団長 高橋勝将
選手に試合で勝つてもらうと、応援したくないと、嬉しそうです。これからも本気の応援をしていきたいです。

応援副団長 藤里和弥
七中の誇れる応援を目指し応援練習をしてきました。大きな声で応援するのはとても楽しくすがすがしい気持ちになれると実感しました。

チーム七中を盛り上げたい
応援団長 内海雄斗



あの質問のゆくえ

定例会での質問がその後どうなったのか。
今回は高齢者福祉に関する質問を取り上げました。

救急医療情報キットの配付を

救急医療情報キットを高齢者へ
配備する考えはないか。
〈平成23年3月定例会〉

答弁

町長：実施する

23年度事業として実施する。
障がい者への配付も検討したい。

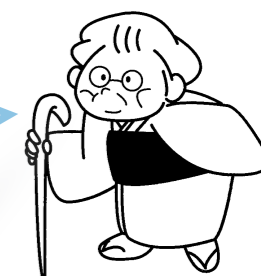
そして

平成23年10月13日から
健康増進課地域包括支援センター
で事業が開始されました。



キットの中には緊急連絡先、かかりつけ医、健康保険証（写し）、診察券（写し）、お薬手帳（写し）などを入れ冷蔵庫の扉の内側に保管し、救急時に備えております。

おじいさんと二人で用意しているよ。備えているといざと言う時とても安心なもの。いいことだ!



遠山地区 Kさん

平成24年6月1日現在
265人の方が登録しております。



千葉志美枝 議員

病児・病後児保育の導入を

町長 現時点では難しい



仲よく合同保育（汐見保育所）

問 本町には公立の保育所や民間の認定こども園等があり働く世代の大きな支援となっている。子どもが病気の時欠勤が長引けばリストラの対象にもなりかねない。再就職も厳しい現状にある。病気が回復していない時や、回復期であっても集団保育が困難な場合、子どもを預けることができず病児・病後児保育の導入はできないか。

答 町長 現在県内では8自治体の実施している。医務室などの確保や看護師の配置が必要であり、現時点では本町での導入は難しい。回復期の子どもたちへの支援は社会福祉協議会が検討してきた協力会員と利用会員から成る託児サポート事業が有効ではないかと考えている。

問 子ども・子育て新システムの導入が病児・病後児保育事業に給付の対象となっている。国のこれらの制度を活用し推進する考えは。

答 このシステムの本格的な実施時期は、消費税引き上げと連動して検討されることから今後の国の動向を見極めたい。

問 本町は東日本大震災で壊滅的な被害を受けたが、例年どおり第18回トライアスロン大会が開催される。コース周辺にはまだまだ未整備による危険箇所もある。このような被災状況下での今大会の開催意義はどこにあるのか。

答 町長 災害復旧工事は順次進んでいるが全面復旧には遠い状況である。開催にあたっては危険箇所を避け、路面の補修、立入禁止の措置等対策を講じる。町民と行政が一体となり復旧・復興に取り組んでおり、それを国内外にアピールし

問 かつての大会で選手間の負傷による救急搬送が相次ぎ、当日急病で倒れた住民が救急車の到着に時間がかかり命を落としたこともある。住民の安全対策に万全を期すべきでは。

答 安全対策の基本はレース中の事故を低減することであり警備員ボランティアスタッフ他トライアスロン連盟からの競技専門役員の増員など万全な人的態勢で臨む。救急車の要請には七ヶ浜消防署の協力を得ている。今大会では予備も1台確保しながら対応したい。



ケガなどせぬよう（18回大会）

トライアスロン実施で 住民の安全対策は

町長 救急車の予備も確保

ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

6月定例会の一般質問は、13日から14日までの2日間行い、7人が活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容を13ページから19ページでお知らせします。
なお、タイトルは通告のとおりです。

千葉志美枝 ……13ページ

- ・ 病児・病後児保育の導入について
- ・ トライアスロン大会の住民の安全確保について

遠藤 喜二 ……14ページ

- ・ 公共施設の耐震性の検証再確認について
- ・ モデル事業として有機物炭素化装置プラントの誘致について
- ・ 災害住宅復興に向けた計画状況について

歌川 渡 ……15ページ

- ・ 被災者・住民の生活環境改善について
- ・ 太陽光発電等設置住宅への助成制度を
- ・ 子ども医療費（乳幼児医療費）助成対象の拡大を

鈴木 勝美 ……16ページ

- ・ 被災地の建築制限について
- ・ 第6次産業を見据えた花洲浜・吉田浜漁港の整備計画の考えは
- ・ 青空市開催について

郷右近剛史 ……17ページ

- ・ 東日本大震災において、建物等が一部損壊以下の町民に対する支援について
- ・ 食物アレルギー対応の学校給食について

岡崎 正憲 ……18ページ

- ・ 公共施設復旧工事における工期管理について

渡邊 淳 ……19ページ

- ・ 放射性物質の影響による今後の水産物の風評被害対策について

仮設住宅の環境改善などは

町長 被災者の生活再建を優先



歌川 渡 議員

答 全世帯に追加工事内容を追記したチラシを配布し、希望調査をしている。

問 厚労省の仮設住宅の追加工事内容を仮設入居者に周知しているか。

答 県は全力で取り組むと説明。町も早期完工を要望していく。

問 風呂追い焚き設置を冬季利用できる対策を。

答 平成23年度限りの県事業で、設置は難しい。

問 呼び出しベルを必要世帯に設置を。

答 民間会社の無償支援で5世帯が取り付けている。今後、希望者には緊急通報システムで対処したい。

問 緊急ブザーを高齢者障がい者世帯等必要世帯へ設置を。



破損したアリーナのガラス



遠藤 喜二 議員

公共施設の耐震調査は

町長 耐震改修促進計画で実施

問 平成12年11月に国の地震調査委員会の公表で宮城県沖地震の発生率の可能性は年々高まっていた。本町の防災対策室が出した計画書は平成22年4月現在、不特定多数利用の建築物の耐震改修工事率は七ヶ浜町で約61%、多賀城市で約70%

利府町では100%となっており本町での耐震化工事は遅いが。

答 町長 年次計画でやっている。財源があればすぐにでもやる。平成19年の県の計画に基づき平成20年10月に七ヶ浜町耐震改修促進計画を作成し実施している。

問 本来、災害時において避難所として使われるべきアクアリーナが使用できなかったのは、意匠・デザインを重視し過ぎて構造をないがしろにしたのではないか。

答 平成9年建築なので耐震性は問題なかった。文科省から避難所として学校施設が最適とされている。

問 被災者の健康状態悪化の影響が、みなし仮設住宅入居者の方が高い。訪問支援体制を。

答 東北大学と共同で大規模半壊以上世帯を対象に健康調査を実施した。支援必要者は専門医による詳細調査・面接を実施している。

問 家庭菜園、釣り魚等食品の放射性物質測定機の導入と体制を。

答 県と消費者庁から2台貸与され、学校・保育所等給食の食材検査や住民の持ち込み測定も可能に。町民にも周知したい。

問 学校給食で業者弁当の放射線量管理は充分か。

答 教育長 弁当業者が食材納入業者に対し、基準以下の安全を確認した食材を納品している。業者所有の測定器で毎日測定している。セシウム測定を民間検査依頼し、現在まで異常値報告はない。

問 体育館で400人、アクアリーナで1500〜2000人の避難が可能であった。国際村や他に避難された方々が2ヶ月の間、もう少し緩やかな避難生活を送れたのではないか。

答 生涯学習課長 柱の接合部分から外れて破損したので今回はその部分を補強した。

災害住宅復興に

向けた計画は

町長 平成26年土地整備を目標

問 着工順位は。

答 町長 地区公民館を先行し、笹山などの災害公営住宅は並行しながらやりたい。

問 用地交渉に関して一日も早い取得を。

答 町長 町に根付かないので誘致の考えはない。

有機物炭素化装置の誘置を

町長 考えはない

問 県議会水産農林委員会で県の部長が装置の確認をしているが、雇用と定住による税収を考へ全国額負担の装置をモデル事業としては。

問 町として監理はしているのか。

答 県の建築住宅センターに委任している。

太陽光発電設置住宅へ助成を

町長 検討していきたい

問 被災者の住宅再建や化石エネルギーに頼らない住居づくりをする世帯に対し、太陽光発電設備等の費用助成を。

答 町長 クリーンエネルギー推進事業でLED街路灯設置を進めている。住民への助成は今後検討していきたい。

太陽光発電市町村別補助金状況 (単位:円)

市町村名	市町村補助金	国補助金	県補助金	合計額
七ヶ浜町	0	122,500	70,000	192,500
白石市	70,000	122,500	70,000	262,500
岩沼市	70,000	122,500	70,000	262,500
登米市	70,000	122,500	70,000	262,500
大崎市	30,000	122,500	70,000	222,500
気仙沼市	87,500	122,500	70,000	280,000
丸森町	105,000	122,500	70,000	297,500
蔵王町	245,000	122,500	70,000	437,500
大和町	122,500	122,500	70,000	315,000
加美町	105,000	122,500	70,000	297,500
女川町	122,500	122,500	70,000	315,000
大衡村	350,000	122,500	70,000	542,500
仙台市	400,000	122,500	70,000	592,500

(標準3.5kwで試算)

中3卒業まで医療費無料の拡大を

町長 近隣市町の対応を調査したい

問 大和町は4月から、大郷町も10月から通院・入院とも中3卒業まで医療費助成の拡大を実施する。本町も対象拡大の考えはないか。中3卒業まで拡大すると助成額はいくらか。

答 町長 県に助成拡大を要望していく。児童の受診状況の把握と近隣市町の対応を調査していきたい。平成21年実績推計で約310万円。

近隣市町での乳幼児医療助成実施状況 2012.6.1現在

市町村名	3歳未満	3歳未満	9歳未満	10歳未満	12歳未満	15歳未満	18歳未満
七ヶ浜町							
宮城県		○					
仙台市			○	○	○		
塩釜市							
多賀城市							
松島町							
利府町							
大和町							
大郷町					H24.10より実施		
富谷町			○	○	○		
大衡村							

■は入院・通院、○は入院のみ



鈴木 勝美 議員

災害危険区域の建築制限は

町長 建て替えるはできない

問 3・11のような未曾有の震災も千年に一度、数百年に一度と将来起こりうる天災に財産をなくしても命は守られる対策をと復興計画が進められている。

しかしこれまでは震災跡地に住宅再建は可能というところで多額の資金を投じ修繕をし生活を始めていた町民がいる。今になって災害危険区域（レッドゾーン）と言われた町民への対応をどう考えるか。

問 建築制限を設けるなら市街化調整区域の緩和を行い、いざ建てるように市街化区域を広げておくべきと思うが。

答 被災した住民一人一人の意向を反映しながら住宅復興を推進していく。

町長 検討している

問 青空市は行政と各団体、商店の協力で実行委員会が組織され41回も継続。昨年は大津波で中止となった。継続が大事とし縮小ではあったが震災復興市として開催今年度も予算化されている。商工会と産業課で開催場所を検討の結果適当な所がなく中止と聞いた。青空市は青空市実行委員会が主催者であるがどのような経過か。

答 町長 本年の開催は実施の方向で検討し予算化されている。

問 各団体、各商店は営利を除外し協力して開催していたが。

答 中止にした訳ではなく、場合によっては近隣市町と共同開催も含め検討している。



海岸より50m地点 安全か

答 町長 修繕をして生活している世帯の今後の対応は、仮に災害危険区域に指定され条例が施行された場合、生活は可能だが建築制限により建て替えることはできなくなる。人命を第一に考え安全安心なまちづくりに取り組む。

答 町長 漁協が建設したもので町としては指摘できない。

第6次産業の施設計画

町長 漁協主体で整備

問 長期総合計画にして第4次国土利用計画にしても、3・11の未曾有の大津波で自然環境と景観が大きく変わり新たなまちづくりが余儀なくされた。現在の花洲漁港の施設はイメージに合わないのでは。

問 漁協の敷地に建てたにしてもまちづくりに適さなければ指導できるのでは。

答 早く復旧に向うためとのことなので理解いたしたい。

問 東日本大震災で建物等が一部損壊以下の町民に、塩竈市が実施した「塩竈市災害見舞商品券」のようなものは支給できないのか。

答 町長 財源を考えると厳しい。昨年、検討したが本町で「商品券」を配っても、塩竈市のように経済効果が広がらないので、別の形で政策を実現した方がよいと考えた。

答 早い公共施設の復旧が町民すべての支援につながる。

問 建物等が一部損壊以下下の町民に対する支援には、どのくらい財源が必要と考えているのか。

答 全世帯を対象と考えられているので、塩竈市と同じような形で見舞金1万円だとすると6500万円かかる。ただ、6500万円あれば商品券として配るのではなく、検討している別の政策にしたい。

問 金銭的な支援ができないのなら他の支援の考えはあるのか。

問 食物アレルギーの子どもたちへ、食物アレルギー対応の学校給食として、除去食や代替食などを提供することはできないか。

教育長 新しい給食センターで対応

食物アレルギー対応給食は

問 発想を変えて見舞金10000円を毎年3月11日に支給する案はどうか。支給額は減るが、毎年支給されるので、東日本大震災を風化させず防災意識を高めることができるのではないか。

答 いい提案なので今後検討したい。可能ならば9月から12月に予算化した。

商品券など金銭的な支援を

町長 予算化も含め検討したい



郷右近剛史 議員



塩竈市の「震災見舞商品券」

答 教育長 学校給食を多賀城市・松島町の学校給食センターとも、個々の食物アレルギーに対応できる製造ラインと設備が備えられていない。また、弁当業者においても特別な製造工程を設けていない。したがって現時点では除去食や代替食などを提供することはできない。



家で作ってくるお弁当

問 今後、新しい学校給食センターが建設されるが、食物アレルギーにも対応できる学校給食体制を盛り込む考えは。

答 新しい学校給食センターでは食物アレルギー対応食として除去食を提供する。食物アレルギー専用ラインを設け、専用の調理器具や専門調理員の配置など施設環境を整備する。今まで食物アレルギーを抱えて、みんなと同じ給食を食べられなかった児童・生徒も完成後はこれらが改善されて楽しい給食時間になる。



岡崎 正憲 議員

災害復旧工事の工期管理は

町長 担当課への人的補強が必要

問 被災した公共施設の復旧工事が次々と開始されている。工事は開始されたものの予定工期を守れず、再開を楽しみにしていた町民は期待を裏切られ憤りさえ湧いてくる状況にある。工事は予期せぬ状況が発生し、

答 町長 復旧目標を盛り込んだ基本計画のもとで迅速な復旧を目指す事業の発注は順調に進んでいる。交付金の性格上年度末での工期設定が必要で、その後変更契約したものである。年度をまたぐことができる会計措置等の取り扱いにより工期を適切に設定し、大きな遅れが生じた時は広報紙等で周知したい。

問 アクアリーナ復旧工事は、外部から見ていると工期を詰める努力の様子が認められなかった。遅れた要因は何か。

答 生涯学習課長 高所作業であり安全上の問題もあったが、業者からは特になかった。



心と体の健康を（待ってましたアクアリーナ）

問 管理体制の強化が必要と考えるが補強は。担当課へは人的な補強が必要である。全体で21人採用を国・県に要求しているが現在6人採用となっている。要求を続けたい。

答 本工事は、町の調査等により単位の時間を要した。足場を設置した後の内部確認の結果、予想以上の大きな追加が発生し査定や対策に時間がかかった。業者においては、資機材の調達や人員の確保に遅れがあったことも要因であった。工期の設定は、会計法上いったん年度末とし契約変更で処理せざるをえなかった。不便をお掛けしたが6月28日からの使用再開となった。心と体の健康に寄与できればと願っている。

問 アクアリーナ復旧工事は、外部から見ていると工期を詰める努力の様子が認められなかった。遅れた要因は何か。

答 町長 使用可能部分と危険箇所を分けて使用しているが、卒業式等式典に使用できなかったのが残念だった。床の張替え補修もあり、学校生活に配慮し工事を進めていく。

福島原発の風評被害対策は

町長 数値根拠をつけてPR



渡邊 淳 議員

問 東日本大震災による福島原発事故に伴い放射性物質が降り注ぎ、阿武隈川、名取川を通じて細かい粘土物質に吸着した放射性物質（放射性セシウム）が海底に広く堆積していると言われている。一方、食品に対する放射性物質による出荷制限が厳格化し、出荷に対する制限や停止指示がでているが本町の対応は。

答 町長 水産物の安全性信頼性を確保するため漁協七ヶ浜支所がスズキなど、5検体を週一回、千葉県の民間会社へ放射線量の測定を依頼している。宮城県放射能情報サイト宮城で公表し、消費者に安全な水産物を提供している。

問 昨年の9月でも質問したが、環境省任せでは漁業は守れない。基幹産業である海からの営みが途絶えれば、人は育たず町は途絶える。七ヶ浜町の漁師がもっと胸をはって「おらほのさかな」を自信持って売れる仕組みづくりを考えると、一次産業を支えているすべての町民が胸をはって産品を出荷できる仕組みを町が主体となって取り組むことから始めるべきではないか。水産物の風評被害対策を町はどのように考えているか。

答 海域の環境調査は国発被害対策は宮城黒川町村会と議長会でも国に要望する予定である。

問 風評被害等の払拭には水産物の安全性を積極的にPRしていくことが必要であり宮城県などと連携しながら、本町水産物の安全性のPRを検討している。

答 基幹産業の漁業を中核とした放射線物質に対する汚染の現状把握の町の考えは、ゲルマニウム検出器導入による独自検査の実施を行い、分析された検査個体と同等の魚介類の冷凍保存庫を設置し管理することで、本町から出荷される商品の安全性を確保することが必要ではないか。



ゲルマニウム測定器（宮城県産業技術総合センターのHPより）

町民の声

おおも とよお
大友 豊雄さん
(汐見台)



議会報告会に参加して

復興の第一歩となる年がスタートしました。一日も早い復興を願う町民の一人として、町の復興がどのように進んでいくのか常に関心を持っていました。

今回、報告会に参加するにあたり、貴重な時間の中で私自身も積極的に参加したいと思い、議会だよりや町の広報を何度も読み返し質問事項を準備しました。

報告会では、議会運営委員長から議会報告会開催の経緯についての説明があり、町民の負託にこたえないという挨拶がありました。今回で2回目の報告会。私は前回参加することができませんでしたが、今回の参加者は各地区とも少なかつたようです。質疑応答では活発な意見交換がなされました。私も準備していた事項について質問し、議会側から具体的な回答をいただき、少しずつではありますが復興が進んでいることを確認でき有意義な議会報告会であったと思いました。また、もっと多くの人に参加できる報告会になればとも思っています。

今後も機会があれば是非参加したいと思います。

町民の皆さんからお寄せいただいたご意見、ご要望などを紹介いたします。どしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

表紙は汐見小学校運動会です。 ～紅白応援団長の感想～



6年3組 さとう しゅん
佐藤 駿くん

小学校生活最後の運動会

ぼくは、今年の運動会で応援団の団長になりました。やりたかった応援の練習は、始めから良く声が出ました。紅組のみんなもよく声を出してくれたので本番を楽しみにしていました。

本番でも、声だけは白組に負けないように心がけ、ぜったい相手に勝ちたいと思い応援しました。

競技では、騎馬戦が印象に残っています。帽子を2つ取ることができました。とてもうれしかったけど、負けてしまったのでとてもくやしかったです。

最後に結果発表がありました。紅組は負けてしまいましたが、小学校生活最後の運動会はこれまで以上に楽しく思い出に残るものになりました。



6年1組 おうさか ゆきの
逢坂 幸乃さん

運動会を終えて

私は最後の運動会、白組の応援団長をしました。応援合戦の練習では、「ゴーゴーゴー」のふりつけを考えて大きな声でがんばりました。あとは、みんなが応援の言葉を考えて心を一つに白組の応援をしました。

そして、はじめての1年生も、2～6年生もみんなが全力でがんばって、白組が優勝しました。とてもうれしかったです。

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は9月11日開会予定です

面倒な手続はございません。どなたでも気軽に傍聴することができます。ぜひお越しください

詳しくは議会事務局まで TEL 357-7435

または、町ホームページ「町民便利帳」をご覧ください。 <http://www.shichigahama.com>

議長	佐藤 梶信	副委員長	渡邊 淳	委員	遠藤 喜二	委員	角 靖志	副委員長	千葉 美枝	委員	糸久 博	委員	岡崎 正憲	議長	角 靖志
----	-------	------	------	----	-------	----	------	------	-------	----	------	----	-------	----	------

新 生・七ヶ浜が以前よりすばらしい町になるようにこれからも努力していきます。

知 恵を出し合い、議会として町の復興のために何ができるのかを議員全員が考え、行動しています。

故 事成語などの四字熟語をこの欄に前々号から組み込んでいます。気付いた方もいらつしやると思いますが、大きな四角囲みの文字を横に読んでみて下さい。

温 度計の目盛りが高い値を示す季節です。皆様、水分をとるなどして熱中症には十分気を付けて下さい。

編集後記

